

---

# jQuery

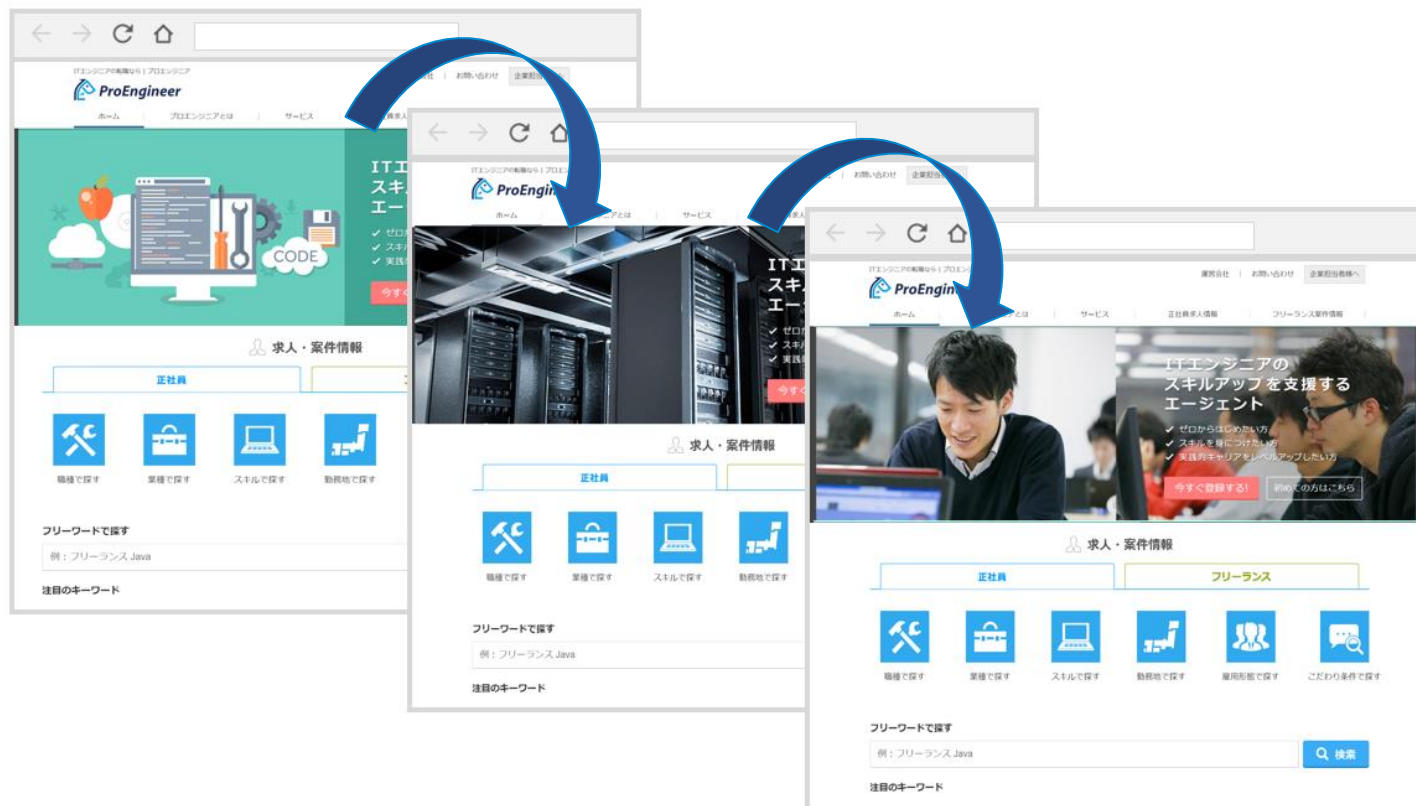
スライドショー

---

## 6 時間目

# 「スライドショー」とは

## 同じ場所で画像が切り替わる機能



# スライドショーにはプラグインを使う

## 解説

jQueryでスライドショーを作るには、プラグインと呼ばれる無料のツールを使用するのが一般的です。jQueryで使用可能なスライドショー用のプラグインは複数あります。

- 1 **bxslider**
- 2 slick
- 3 slide pro
- 4 FlexSlider2

※本講座では、①の方法を勉強します。

## 補足

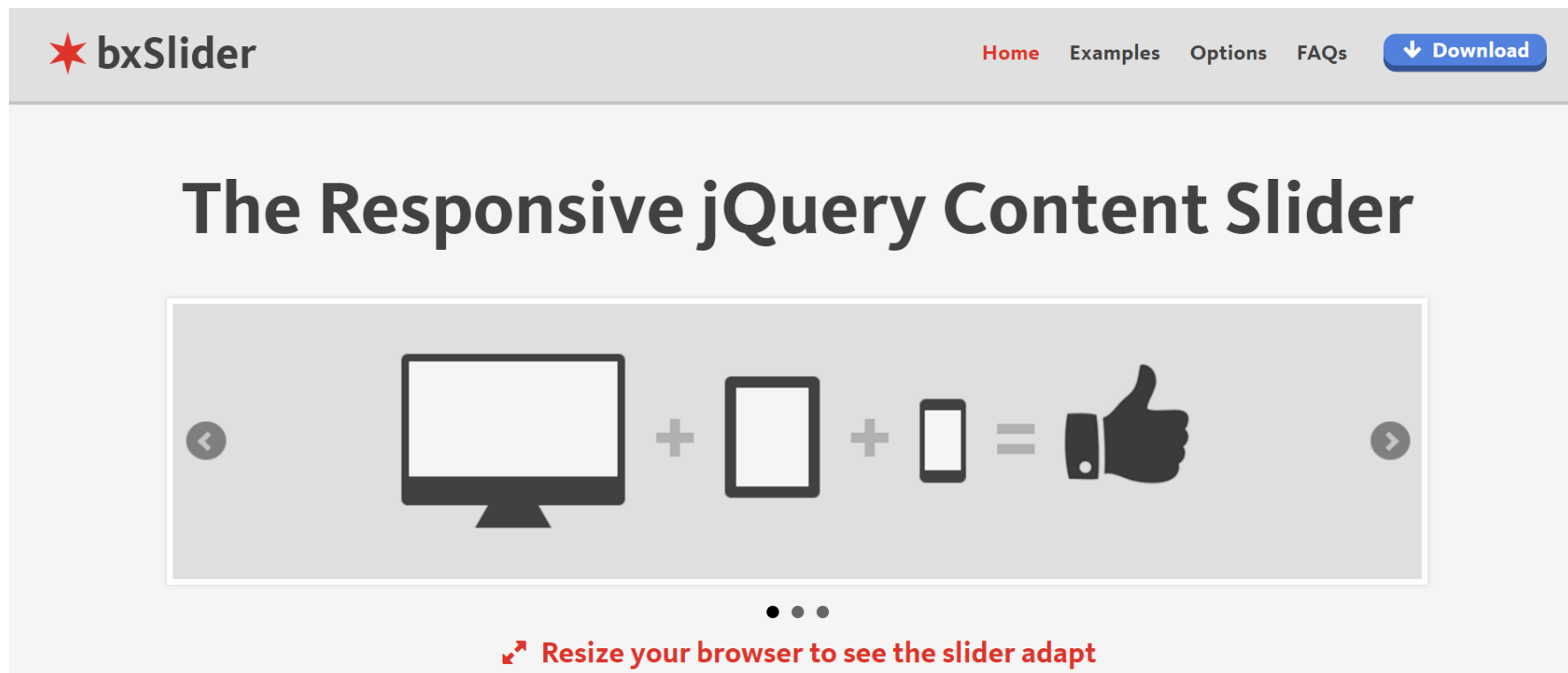
「プラグイン(Plugin)とは、あるソフトウェアの通常機能だけでは物足りないと考えた有志のエンジニアが作ったそのソフトウェアに追加する為の便利機能です。通常はインターネット上で無料提供されています。

# スライドショーを作る手順

- 1 bxsliderプラグインをダウンロード
- 2 HTML上にコードを書く
- 3 CSSとJavaScriptファイルにコードを書く

## ①bxsliderプラグインをダウンロード

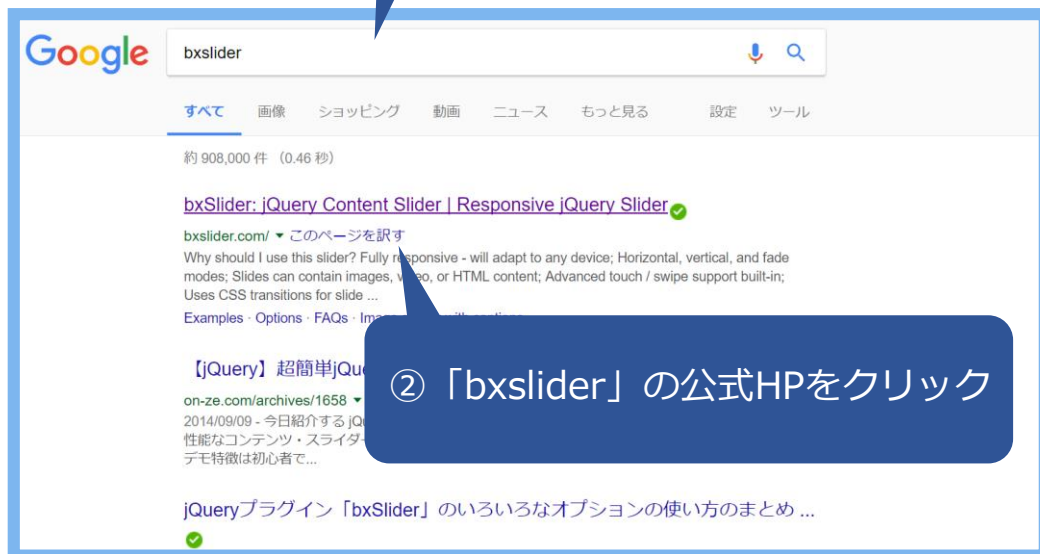
bxsliderは、初心者にも使いやすいプラグイン



# ①bxsliderプラグインをダウンロード

## まずは、ダウンロード

① Googleで「bxslider」と検索。



③ 「Download」をクリック。

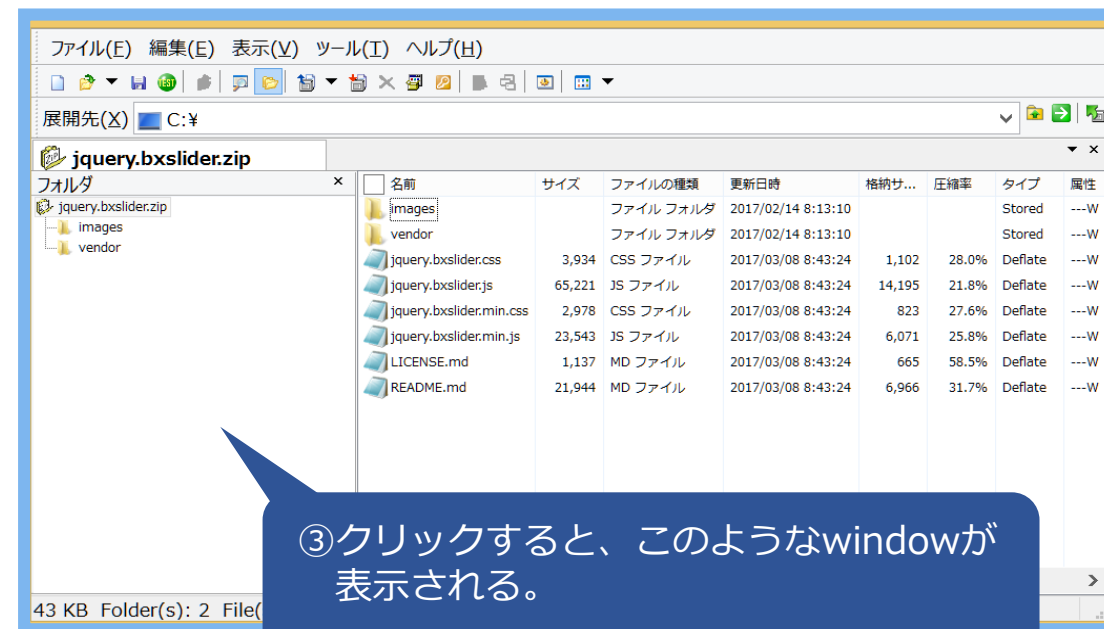


# ①bxsliderプラグインをダウンロード



① ダウンロードが始まる。

②ダウンロードが終わったらクリックで開く

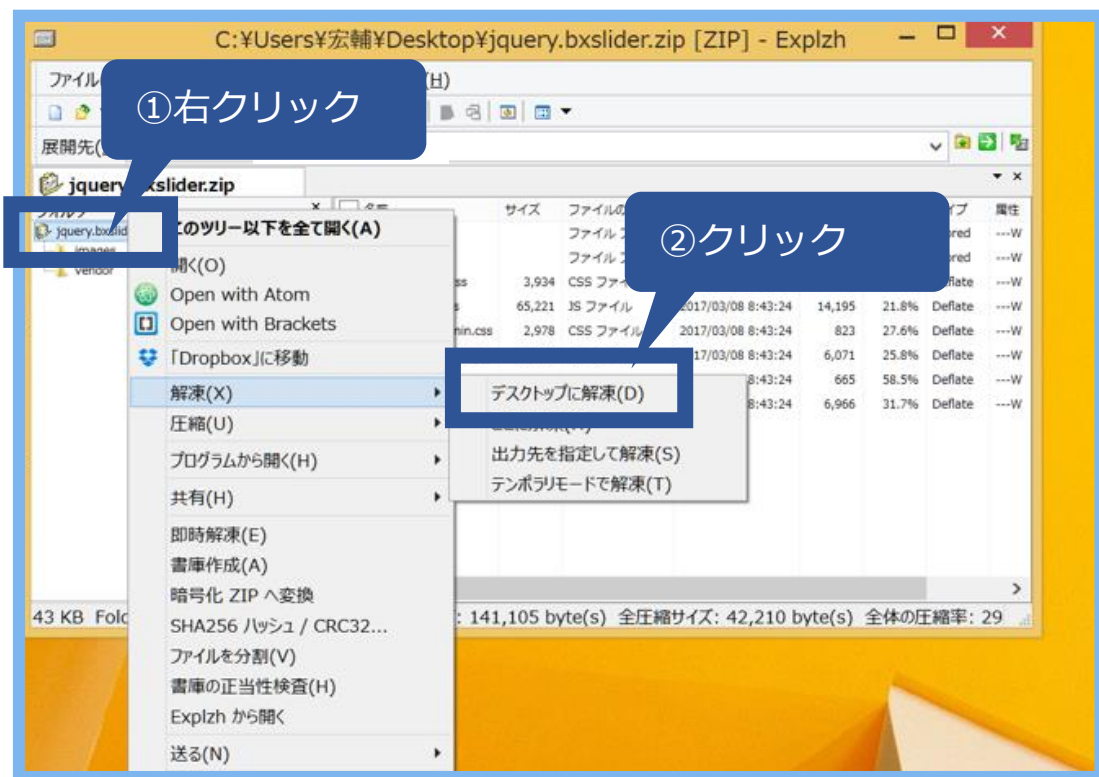


③クリックすると、このようなwindowが表示される。



# ①bxsliderプラグインをダウンロード

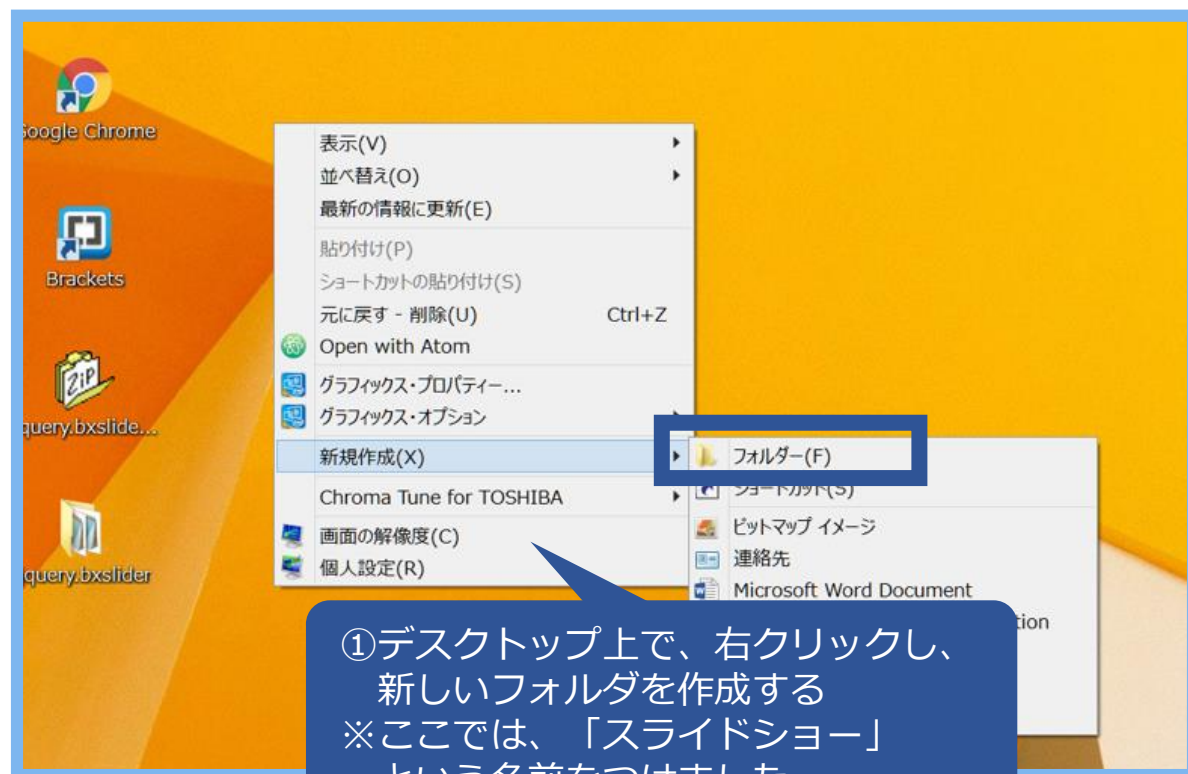
## zipファイルを解凍





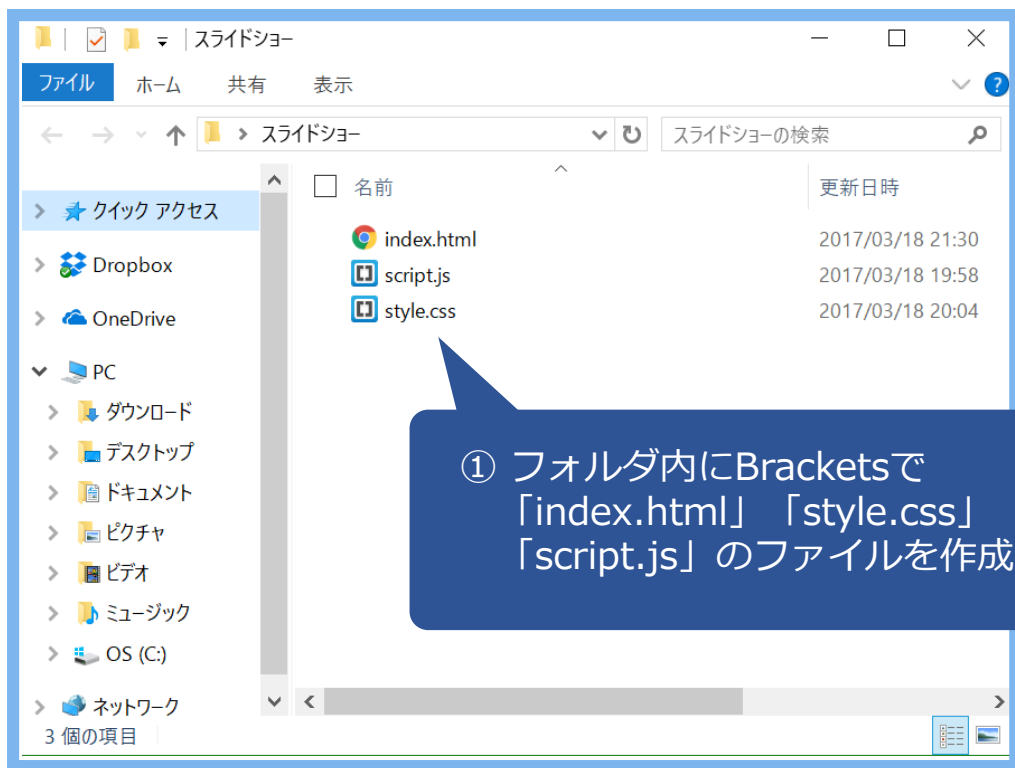
# ①bxsliderプラグインをダウンロード

## スライドショー用のフォルダを作成



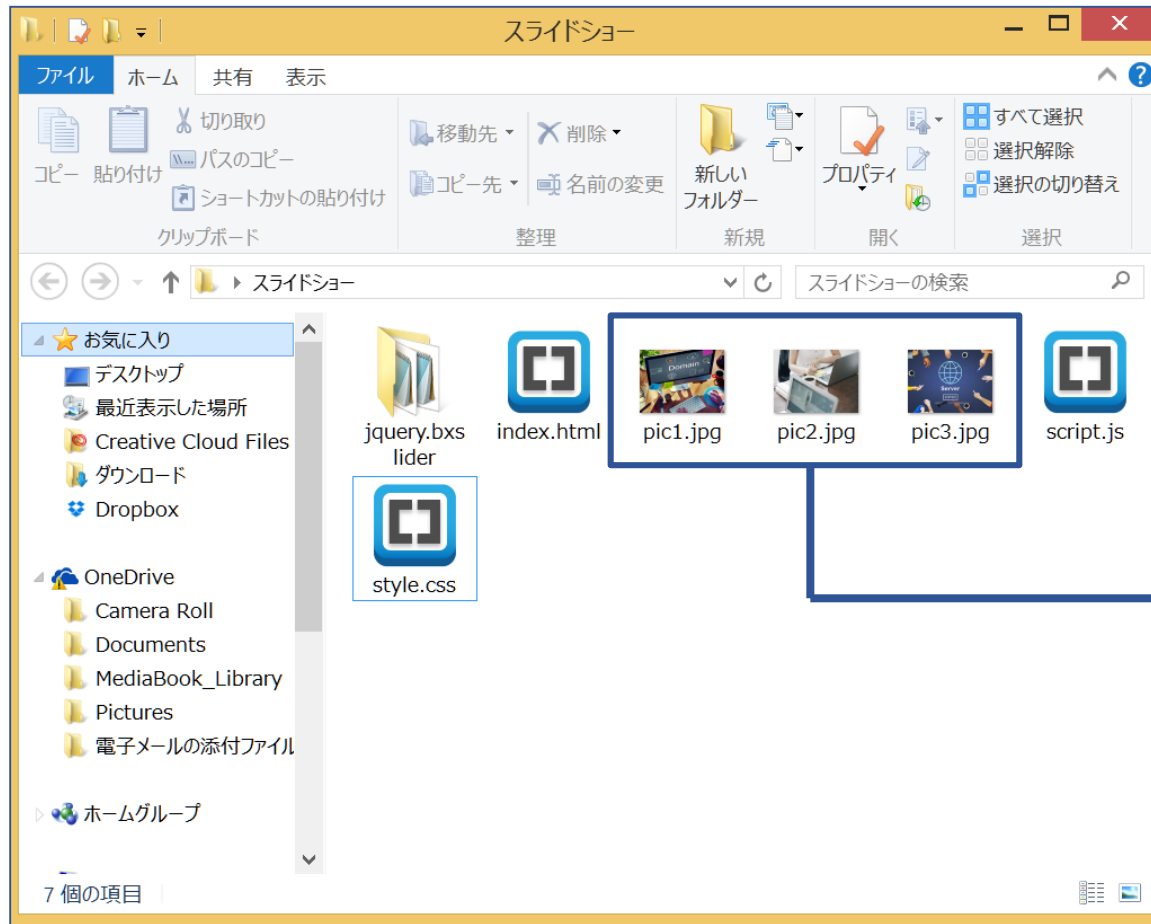
# ①bxsliderプラグインをダウンロード

「jquery.bxslider」を作成したファイルへ移動



## ②HTML上にスライドさせる画像を書く

### スライドさせる画像を用意



スライドさせる画像を配置

ここでは、この3枚（pic1.jpg、pic2.jpg、pic3.jpg）の画像を使用します。

※画像は、何を使用しても構いません。

## ②HTML上にコードを書く

作成したスライドショーの中の「HTMLファイル」に下記のコードを記述

index.html(HTMLファイル)

```
<!DOCTYPE html>
<html>
  <head>
    <meta charset="utf-8">
    <title>スライドショー</title>
    <link rel="stylesheet" href="style.css">

    <script src="https://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/3.1.0/jquery.min.js"></script>

    <script src="./jquery.bxslider/jquery.bxslider.min.js"></script>

    <link href="./jquery.bxslider/jquery.bxslider.css" rel="stylesheet">

  </head>
  <body>

    <script type="text/javascript" src="script.js"></script>

  </body>
</html>
```

jQueryを使えるようにするコード

bxsliderのJavaScriptファイルを読み込むコード

bxsliderのCSSファイルを読み込むコード

## ②HTML上にコード書く

作成したスライドショーの中の「HTMLファイル」に下記のコードを記述

index.html(HTMLファイル)

```
<body>  
  <div class="abc">  
    <ul class="bxslider">  
      <li></li>  
      <li></li>  
      <li></li>  
    </ul>  
  </div>  
  <script type="text/javascript" src="script.js"></script>  
</body>  
</html>
```

### ③CSSとJavaScriptファイルにコードを書く

作成したスライドショーの中の「style.css」と「script.js」に下記のコードを記述

style.css(CSSファイル)

```
.abc{  
  width: 400px;  
  height: 300px;  
}
```

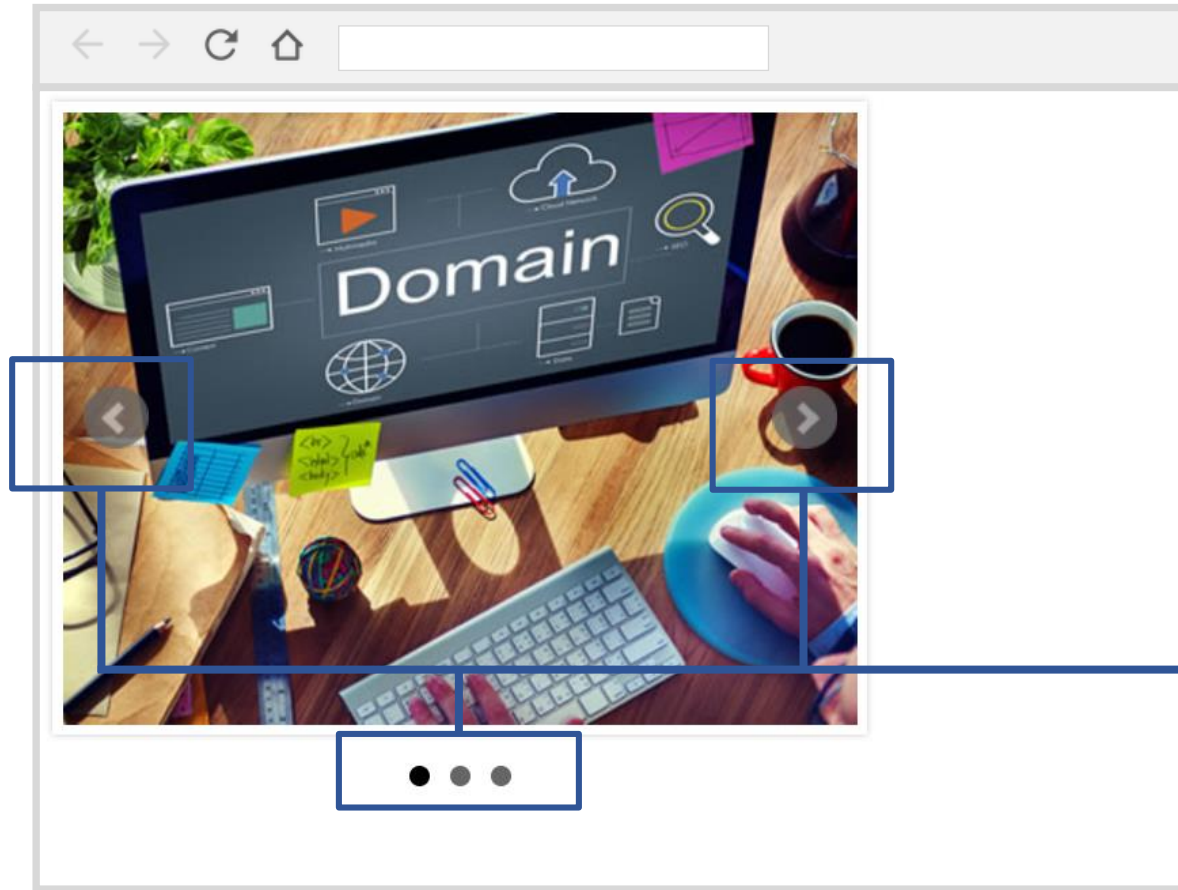
```
img{  
  width: 400px;  
  height: 300px;  
}
```

script.js(Javascriptファイル)

```
$(function(){  
  $(".bxslider").bxSlider();  
});
```

# 完成

## 画像のスライドショーが完成



この部分をクリックすると、  
画像がスライドして変わる



# さらに、動きをつけるには・・・

下記のようにコードを記述すれば、さらにスライドに動きを追加可能

script.js(JavaScriptファイル)

```
$(function(){  
  $(".bxslider").bxSlider({  
  
    auto: true,  
    mode: 'fade',  
    speed: 1000  
  });  
});
```

自動再生をオンにする。

スライドの仕方を設定する。  
「horizontal」は横スライド形式  
「vertical」は縦スライド形式  
「fade」はフェード形式

画像が切り替わるスピードを設定する。  
この数字を大きくすると、ゆっくりフェードアウト/インしていく。

1000=1秒、2000=2秒  
※何も書かなければ、500=0.5秒に設定されます。

さらに、動きをつけるには・・・

画像のスライドショーが完成



フェードアウト/インしながら、  
自動でスライドが切り替わるようになった